

令和4年度（令和5年度実施）事務事業評価表

事業整理番号 0804 - 15

事務事業名	スポットビジョンスクリーナ導入経費	担当組織	池袋保健所	健康推進課
-------	-------------------	------	-------	-------

事業特性											
事業を構成する予算事業	事業開始年度	4年度	事業終了年度		計画／一般	計画	計画事業No.	3-	3-	2-	4
	単独／補助	国・都補助＋区上乗せ事業	運営形態	一部業務委託	関連するSDGsのゴール		3				
①	3歳児健康診査経費				②						

政策体系（令和4年度基本計画）									
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち			政策	健康な生活の維持・増進				
施策	こころと体の健康づくりの推進【重点】			政策番号	3-3-2				
関連する個別計画	豊島区健康プラン			計画策定年度	平成30年度	計画期間	平成30年度～令和6年度		

1. 事業の概要・指標の達成状況

(1)実施の対象(具体的に記載)	3歳児健康診査の受診児(3歳から4歳未満の区民)								
(2)事業の目的・期待する効果	子どもの目の機能は生まれてから発達を続け、6歳までにほぼ完成するが、3歳児健診において強い屈折異常(遠視・近視・乱視)や斜視が見逃された場合に治療が遅れ、十分な視力が得られない。幼児期の弱視等を早期発見・治療・矯正することにより、健全な発達が促される。								
(3)事業概要	3歳児健診時にスポットビジョンスクリーナーを用い視覚検査(屈折検査)を実施し、結果により必要な場合には精密検査受診を勧奨する。								

(4) 目標の達成状況	4年度の取組内容(4年度に実施した具体的な業務内容)	3歳児健診時の視覚検査(スポットビジョンスクリーナー)実施。								
	成果指標(事業目標の達成度)	成果指標	目指す方向性	単位	3年度(実績)	4年度(計画)	4年度(実績)	(達成率)	5年度(計画値)	
	①	眼の有所見者数	→	人	93	200	298	149.0%	300	
	②									
	指標の説明	スポットビジョンスクリーナー検査の実施により、眼の有所見者数の発見が増える								
	未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							

(5) 取組実績	活動指標(事業の実施状況)	活動指標	目指す方向性	単位	3年度(実績)	4年度(計画)	4年度(実績)	(達成率)	5年度(計画値)	
	①	3歳児健康診査受診率(受診者数/対象者数)	↗	%	91.8	95.0	93.6	98.5	95.0	
	②									
	③									
	指標の説明	①3歳児区内対象者に対する3歳児集団健診受診者数の割合								
	未達成の状況	達成、未達成、一部未達成を選択	未達成または一部未達成の理由							

2. 事業費の推移

単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)	3年度		4年度			5年度	
	予算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R4決算比)
事業費	A	901	709	2,689	2,900	1,504	-1,396
人件費	【正規(人数)】	—	(2.00)	—	(2.00)	(2.00)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】	—	(0.00)	—	(0.00)	(0.00)	—
	人件費 B	B	—	17,000	—	17,000	17,000
事業費(人件費含む)	C=A+B	—	17,709	—	19,900	18,504	-1,396
財源内訳	国、都支出金	0	0	614	614	0	-614
	使用料・手数料	D	0	0	0	0	0
	地方債・その他	0	0	0	0	0	0
	一般財源	E=C-D	—	17,709	—	19,286	18,504

3. 総合評価及びR5年度以降に向けての対応・改善策

【指標の達成状況(a)】
→S、A、B、C、Dの5段階で評価 **A** 根拠 先行区を参考とした予想有所見率を上回って、弱視等の発見ができています

※上記の達成状況を踏まえ、評価及びその根拠を記載してください。
※以下の欄には、①目標に対する成果結果の課題、②指標以外の数値では測れない効果について記載してください。

(1)令和4年度成果と課題

①目標に対する成果状況を踏まえた課題
有所見者に対する精密検査受診票の発行数も増えている。

②指標に表れない事業の成果(指標以外の成果)

【業務(事務)改善に向けての取組み(b)】
S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒ **A** 根拠 視覚検査は予定どおり3歳児健診受診者を対象に実施している

※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。
※昨年度に何らかの対応、改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。

(2)業務(事務)改善に向けての取組み

①目標に対する成果状況を踏まえた課題(再掲)
有所見者に対する精密検査受診票の発行数も増えている。

②現状の実施状況における所管課の認識

事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	有	選択の理由	健診通知発送・受付事務は一部委託している。
サービスに係るコストは適正か	適正	選択の理由	検査機器購入・検査員経費に見合った発見率である。
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名	

③上記①、②を踏まえた所管課の対応実施状況

対応、改善を既に行った	はい	はい	取組内容及び効果	検査・精密健診発行待ち時間の短縮	予算措置	有
対応・改善予定(上記ではい場合は更なる)	無	無	対応、改善の予定がない理由	既に人員体制を見直して実施している。		

選択肢に
関わらず

対応、改善の内容	有	有	予算措置を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由	予定時期
----------	---	---	-------------------	-----------	------

【区が実施する必要性(c)】
S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒ **A** 根拠 3歳児健康診査における視力検査および保健指導が適切に実施されるよう国から通知が出ている。

※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。
※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。

(3)必要性/優先度

①区が実施する理由(複数選択可)

<input type="radio"/> 区他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	<input type="radio"/> 法律の要請を受けて行う事業である。
<input type="radio"/> 民間事業者等に同様のサービスがない。	その他(理由)

②区民ニーズ

区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(活動)	①	指標番号(成果)		サービス利用者数
	「有」「無」ともに記入		推移	↗	推移		

区民ニーズに対する認識
弱視等の早期発見により、適切な治療・矯正が受けられ視力が維持されることから区民ニーズは有ると認識している。

総合評価(d=a+b+c) **ランク1**

4. R5年6月末時点の状況

①令和5年度当初の課題・ニーズ	・3歳児健診では、スポットビジョン導入により弱視発見率が3.1%(R3年度1.4%、R2・R元年度0.7%)と増加し早期発見・早期治療につながっている。一方で、精密健診票発行数は大幅に増加(R4年度439件、R3年度198件)しており、診察医師の負担増加している。また健診所要時間も長くなり、区民の負担も増加し、診察医師体制維持や診察時間の短縮が等が課題である。
②国・都の動き(関係法令の改正・補助金の創設・方針の変更など)	乳幼児に対する健康診査の実施に必要な健康診査受診票等については、平成10年に国から「乳幼児に対する健康診査について」において示されているところであるが、令和5年3月に一部改正され、3歳児健康診査の記録欄に、屈折検査に係る欄が新設された。
③令和5年度の方向性・取組方針(事業展開)	3歳児健診従事者増員の予算拡充により、安定した事業運営を継続する。
④令和5年度の事業進捗状況(6月末時点)	視覚検査補助・精密検査受診票発行・保健指導の従事医療職を増員して、健診を実施している。
⑤区民等からの事業に対する意見・要望	弱視等の発見時にはショックを受ける保護者もいるが、適切な治療・矯正につながり、結果的には好評。健診の待ち時間等が長くなると保護者等から、次の予定に影響する等の苦情申し出がある。
⑥上記⑤に対する対応	健診事業運営については、適正な人員配置を事務の見直しを適宜行っている。

今後の事業費予算要望(e)	現状維持	根拠	法定健診において視覚検査を継続実施するため、現状の従事者体制を維持する必要がある。
---------------	------	----	---

今後の事業の方向性(d+e) (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)	B:改善・見直し
---	----------

《上記判断を踏まえた所管課の認識・R5年度以降に向けての対応》

検査をスムーズに受けってもらうために、区ホームページの3歳児健康診査案内ページに視覚検査についての説明を記載するなどの工夫をしている。
健診全体の流れをスムーズにし、適切な検査・精密検査受診票発行・保健指導が実施できるよう、必要な見直しを継続する。